



真核細胞のモデルとなる出芽酵母にもスフィンゴ糖脂質（正確には複合型スフィンゴ脂質）が存在している。この研究では、そのスフィンゴ糖脂質を合成する二つの酵素（Csh1とSur1）に結合するアスパラギン結合型糖鎖の機能を調べた。様々な酵素で糖鎖がなくなるとその活性が消失するという研究結果はこれまでも多数報告されているが、Csh1とSur1に関しては糖鎖が基質特異性を決めているという興味深い結果であった。